

民生委員・児童委員だより

みまもり

発行 泉佐野市民生委員児童委員協議会 会長 小川 眞一

編集 民児協広報部会 ご意見・お問い合わせ等は事務局まで TEL 072-464-2259


 会長就任にあたって

新体制スタート

泉佐野市民生委員児童委員協議会 会長 小川 眞一



昨年12月の一斉改選で会長に選任され、気持ちを新たに新年度を迎える事となりました。

現在、私たちの地域を取り巻く環境は、独居高齢者の増加や、ヤングケアラー・孤立する子育て世代など、ますます多様化・複雑化しています。このような時期だからこそ、私たち民生委員児童委員の役割である「地域住民に寄り添う姿勢」が、何よりも重要だと強く感じております。

特に本年は、以下の活動に注力して参りたいと思います。

***第一は、「顔の見える関係づくり」の更なる充実…**困った時に「まずは、あの人に相談してみよう」と思っていたできるように、より一層地域に根ざした訪問活動や見守り活動を推進します。

***第二は、関係機関との強固な連携…**多様化する悩みに対し、行政や専門機関と迅速につなぐ「架け橋」としての機能を強化し、誰もが取り残されない支援体制を目指します。

***第三は、風通しの良い組織づくり…**委員同士の連携を深め、一人ひとりがやり甲斐を持って活動できる環境を整えることで、支援の質を向上させます。

***第四は、防災・防犯ネットワークの構築の充実…**災害時に備え、支援が必要な方の把握と地域防災訓練の参画を推進したいと考えています。

健康を第一に無理のない範囲で活動し、皆さまと一緒に、笑顔が絶えない温かい地域社会を築いていきたいと思っております。今後とも変わらぬご指導とご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

新年互礼会



千代松市長の挨拶



香淳皇后御歌の朗詠



民生委員児童委員信条の朗読



小川会長の新年挨拶



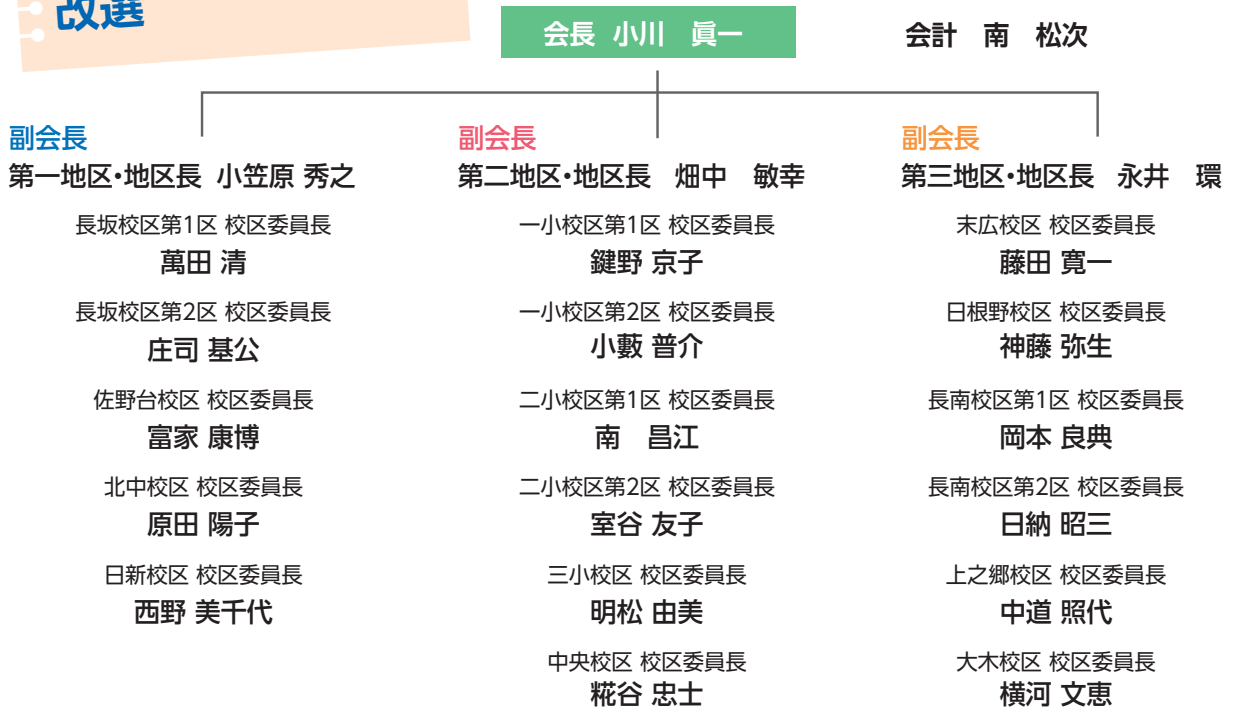
西願社協会長の挨拶



児童憲章(前文)の朗読

**民生委員児童委員
及び主任児童委員の
改選**

民児協役員名簿



泉佐野市 民生委員児童委員協議会 委員名簿

第一地区

▶長坂校区第1区

泉ヶ丘町	岡野 紀美子 (欠員)	高齢
新泉ヶ丘町	逸見 多加志	児童
新家町	田中 彰 坂本 美紀	広報 子育て
見出住宅 泉佐野鶴原住宅	萬田 清 (欠員)	障がい

▶長坂校区第2区

貝田町	庄司 基公 (欠員)	児童
鶴原北住宅	藤井 充子	広報
鶴原東町	川口 昭代 辻野 栄二 (欠員)	子育て 障がい
下瓦屋南町 主任児童委員	中西 常泰 赤坂 佳代	高齢 子育て

▶佐野台校区

佐野台町	(欠員) (欠員) 平田 均 (欠員)	児童
西佐野台町	矢頃 敦之	高齢
東佐野台町	小笠原 秀之	広報
南泉ヶ丘	富家 康博 奥田 典子	子育て 障がい
主任児童委員	中藤 リカ	児童

▶北中校区

鶴原町	川端 由紀 休場 恵美子 佐藤 一之 (欠員)	広報 障がい 子育て
鶴原中央住宅	原田 陽子 田中 誠二 (欠員)	高齢 子育て
下瓦屋町	森川 政明 北川 伯子 松原 みどり 植野 香緒里 形部 博紀	障がい 児童 障がい 高齢 児童
主任児童委員		

▶日新校区

上瓦屋町	松谷 一松 (欠員)	児童
中庄町	松浪 博 西野 美千代 奥野 三枝子 田端 秀文 西上 保 植野 宏 吉増 富美子 中小司 美千子 (欠員)	高齢 広報 児童 子育て 子育て 児童 高齢 障がい
泉陽ヶ丘 湊町	山下 章一 堀口 修 川野 三代子	障がい 子育て 子育て
主任児童委員		

第二地区

▶一小校区第1区

本元町
野出町
西本町
笠松町

鍵野京子
高岡幸美
辻戸榮子
久保瞳
澤野義則
味園貴代
佐々木健
濱村信也
藤田智弘
丹野美也子

障がい
子育て
児童
高齢
広報
障がい
障がい
高齢
児童
子育て

栄町
若宮町
大西町
上町
主任児童委員

前田朋子
(欠員)
安藤文造
松井勇造
室谷裕子
高橋裕子
吉岡希子
野出朋子

障がい
広報
障がい
児童
児童
高齢
児童

▶一小校区第2区

松原町
松原団地住宅
羽倉崎町
主任児童委員

上野初美
(欠員)
岡井和子
中島博子
岸田美紀
小藪普介
大北勇一

児童
高齢
子育て
障がい
広報
子育て

▶三小校区

旭町
新町
春日町
主任児童委員

明山育子
中庄悦子
道林秀美
(欠員)
明松由美子
熊取和子
秦さや

子育て
障がい
高齢
児童
高齢
児童

▶中央校区

市場町
葵町
幸中町
日根野西松風台
主任児童委員

家路博史
糺谷忠士
南純子
下澤薫
笹木原喜美子
番匠一枝
小井龍栄
北村公子
(欠員)
亀崎妙子
(欠員)
中川景文
中庄谷ひとみ

障がい
高齢
障がい
子育て
高齢
広報
子育て
児童
障がい
高齢
子育て

▶二小校区第1区

高松町
高松北町
高松東町
高松南町

中庄谷美智子
奥田秀子
南昌江
塚本千里
木地勉
山本英雄
山本麻友美
福本加代幸
畑中敏幸

子育て
広報
高齢
子育て
障がい
障がい
児童
高齢
児童

▶二小校区第2区

大宮町

川崎真由美
新甚裕己

子育て
高齢

第三地区

▶末広校区

東羽倉崎南町
東羽倉崎町
府住東羽倉崎町
長滝第一住宅
新安松町
羽倉崎上町
新羽倉崎町
主任児童委員

瀬戸口礼二
(欠員)
奥矢正博
奥恵子
井上克人
菅原千鶴
菅原昌和
藤田寛一
(欠員)
広瀬正俊
檜下由紀子
大谷博朗

児童
児童
児童
高齢
子育て
子育て
広報
障がい
障がい
児童

中の番
西の番
新長滝
長滝住宅

岡本良典
山田美由紀
永井環子
川上厚子
麻生川慶子
(欠員)

障がい
高齢
児童
高齢
子育て

▶長南校区第2区

安松町
岡本町
櫻井東町
櫻井西町
主任児童委員

日納昭三
清水幸夫
松井英機
西川紀子
中西加奈
南松次子
山崎美香子
脇田芳進
西川康美
南田恵子

高齢
障がい
児童
高齢
子育て
児童
広報
子育て
障がい
高齢
児童

▶日根野校区

東久の
中の筋
西出
野口
西上
新道出
野々地藏
俵屋
ふぁみゆ日根野
主任児童委員

加茂直樹
北庄司照子
北庄司榮子
城塚政行
藤原誠一
神藤久雄
吉井里美
藤原千加子
濱田けい子
小川栄子
小川真一
北庄司千鶴
田倉光道
神藤弥生
大谷貞

子育て
子育て
高齢
障がい
障がい
児童
高齢
児童
広報
高齢
児童
障がい
子育て
障がい
児童

▶上之郷校区

母山場
机形
女上村
上村
中村
下村
主任児童委員

向井雅子
中之庄谷正
射手矢英子
中道照人
南秀秀
角谷幸男
北美智代

広報
障がい
高齢
子育て
児童
障がい
子育て

▶大木校区

上大木
中大木
下大木
土丸
主任児童委員

河原弥壽治
横河文恵
森由香里
岨昌和
市橋孝善

高齢
広報
子育て
障がい
児童

児童福祉部会

部会長 瀬戸口 礼二

37名



各小中学校関係者との懇談会

子どもたちを取り巻くさまざまな課題について意見交換や情報交換を行い、学校と地域が連携しながら「児童の健全育成」の実現を目指します。

奉仕活動

令和8年より、泉佐野こども未来応援フェスタへ参加します。

ひとり暮らし高齢者への年賀状の送付

年賀状は地域の小学校の児童が一枚一枚心を込めて作成し、宛名書きや発送は民生委員が行っています。(子どもたちから届く年賀状は、高齢者の方々にとって大きな楽しみとなり、地域のつながりを感じていただける取り組みとなっています。)



子育て部会

部会長 中島 博子

37名



子育て部会の活動として、主に「親と子のふれあい人形劇のつどい」「中学生と乳幼児ふれあい事業」(諸事情により休止)「岸和田学園への雑巾寄贈」などがあります。

最大のイベント「親と子のふれあい人形劇のつどい」に向けて、人形劇班と手作り班に分かれ、人形劇の練習と人形劇に来てくれた子どもさんへのお土産作りをしています。

昨年は、午前の部一回の開催となりましたが、子ども57名・大人51名で合計108名と多くの方に参加していただきました。皆さん楽しんでいただけ、お土産の上履き入れも喜んでいただけました。

今年も人形劇に向けて練習とお土産作りに頑張っていきたいと思っています。



主任児童委員連絡会

代表 赤坂 佳代

13名



主任児童委員(小学校区に各1名)

教育機関と連携し、子どもや子育てに関する支援を専門的に担当する委員です。

児童福祉部会・子育て部会との連携

民生委員と学校関係者との懇談会や、ふれあい人形劇などの催しへ参加しています。



小中学校の訪問

月例連絡会

毎月の定例会で活動報告や情報交換などを行なっています。

泉州ブロック(高石市~岬町)研修会

年2回、研修会を開催し、相互に情報交換を行っています。



泉佐野民児協 部会活動

泉佐野市の165名(定員)の民生委員・児童委員は、それぞれ各町内での活動以外に6つの専門部会に分かれて活動しています。

高齢福祉部会

部会長 松浪 博

37名



友愛電話訪問活動

後期高齢者が増加するなかで、ひとり暮らし高齢者の方の生活の状況確認を行うとともに、その方たちが社会に取り残されないように孤立化を防ぐ一助として民生委員がお電話をします。この友愛電話訪問は毎週木・金曜日の午後1時半から3時まで行っています。昨年度は延べ3753人の方にお電話しました。



奉仕活動

特別養護老人ホーム「泉ヶ丘園」の盆踊り大会でのバザーに参加・協力しています。これまでは、コロナ禍で中止が続いていましたが、久しぶりに昨年8月23日に開催された盆踊り大会運営のお手伝いとして参加しました。ゲームコーナーでは、盆踊りに参加した園児と保護者のみなさんと一緒に楽しみました。

障がい福祉部会

部会長 岡本 良典

37名



研修会の実施

令和5年度から7年度にかけて、研修会を中心とした活動を行いました。梅花女子大学の伊丹昌一教授を招き「発達症の理解と支援」をテーマとした講演、市教育委員会講師による発達障がいに関する研修を行うとともに、市、社協、関係事業者からは、障害福祉サービス、市内にある障がい者施設について説明を受け、障がい者に関する対応や相談等についての基礎的なスキルを学びました。

奉仕活動

社協ふれあいクリスマス会に参加し、会場設営、催しの運営協力など行いました。また、社会福祉法人「いちよの森ラフィーカギンナン」(生活介護事業所)での花の球根植え活動、同施設で開催された「ラフィーカ祭り」へ応援参加しました。

広報部会

部会長 小笠原 秀之

18名



広報紙の発刊【年2回発行】

民生委員・児童委員だより「みまもり」は、民生委員・児童委員の活動や各種福祉情報を多くの方に知っていただくための広報紙です。年2回の発行ですが、より多くの方々に民生委員活動を理解していただくため、その内の1回を全戸配布しています。

他市 民児協広報部会との交流会

令和7年度は、5月に河内長野市民生委員児童委員協議会の広報委員会をお招きして交流会を開催しました。河内長野市民児協の吉田妙子会長・安田宗義副会長をはじめ、洞淵元秀広報委員長以下7名の広報委員と社協職員1名の計10名が、泉佐野市社会福祉センターを訪れ、それぞれの地域の現状や課題など、お互いの活動報告を中心に意見交換が行われました。また、泉佐野市民児協から中西常泰前会長が出席、たいへん有意義な交流会となりました。



第一地区 管外研修 (神戸)

あの大震災を忘れない…1.17の記憶

7月3日(木)第一地区民生委員児童委員28名で神戸市の「人と防災未来センター」へ研修に行きました。

阪神・淡路大震災から30年という月日が流れ、私たちの記憶も次第に薄れてきているように思われます。「人と防災未来センター」はこの震災の経験と教訓を後世に伝えるため、そして、防災・減災の実現のために必要な情報を発信する施設です。

私たちは、まず1階のガイダンスルームで神戸市水道局の職員の方によるセミナーを受けました。震災時、壊滅状態であった上下水道の復旧作業に3ヶ月を要したことや、この震災の教訓から古い水道管を地震に強いものに取り替える耐震化工事を進めてきたこと等の苦労話をお聞きしました。

そのあと、上の階へ上がり、「1.17シアター」で阪神・淡路大震災の地震破壊の凄まじさを大型映像と音響で体感しました。また、「大震災ホール」では、復興に至るまでの街と人をドラマ仕立てで鑑賞しました。

そして、震災の記憶を残すための震災関連資料の展示や、震災を語り継ぐ「語り部」の方の体験談を聞いたり、1995年に起きた阪神・淡路大震災がどのような災害だったのか、そして、どのようにして復興を成し遂げたのかを改めて知ることができました。



菊正宗酒造記念館

人と防災未来センターを出て、三宮で昼食をとり、自由散策で生田神社参拝や買い物などを楽しみました。その後、灘五郷の「菊正宗酒造記念館」を訪れました。

「菊正宗」といえば、あの西田佐知子さんのCMソングで有名ですよ〜

【初めて〜の街で〜いつもの酒〜……………やっぱり〜俺は〜〜菊正宗〜】

菊正宗酒造は創業360余年の歴史を誇る酒造メーカーです。その記念館は、「酒造りの原点を知ること」をテーマに酒造りの過程から用具類に至るまでを知ることができます。その酒造展示室には、国指定・重要有形民俗文化財である灘の酒造用具や所蔵する小道具類が展示されています。これらは、阪神・淡路大震災の時も倒壊した建物の中で、ほとんどが被害を免れたそうです。

私たちは展示室を見学した後、物販コーナーでお土産を購入したり、利き酒ならぬ試飲を楽しんだり、記念館での時間を満喫しました。

この研修を通して「防災・減災」について改めて学び、近い将来必ず起こるといわれる南海トラフ地震に備える必要性を強く感じました。



第二地区 管外研修（石川）

令和6年能登半島地震 ～その後

令和7年6月28・29日、泉佐野社協と志賀町社協との繋がりが出来たことで管外研修として石川県へ行くことになりました。前年の1月1日の夕方、365日の中で一番ゆっくりと時が流れている中、突然襲った能登半島地震。その地に研修で行かせていただくこととなり緊張の中、石川県へ向かいました。金沢の観光地では旅行者も多く、震災があったようには思えませんでした。しかし、宿泊する和倉温泉周辺は建物を解体したり、更地を重機でならしたりと、震災の傷跡が残っていました。

宿泊先の『のと楽』さんで、夕食中に思いつきで無理なお願いを従業員さんにしました。震災の時のお話です。辛い日を思い出させてしまう、思い出したくないかも。けれど二つ返事で応えてくださり、震災時のお話をして下さいました。

通常、地震や津波がきた場合、自分の身を守る行動をとるとマニュアルにあります。ホテルで勤務されている従業員の方々は、お客様の安全確保を最優先して命を守る行動を取られたということです。あの日の出来事を経験していないのに、怖く、恐ろしく感じました。

翌日は、志賀町文化ホールにて志賀町社協の職員さんによる、震災発生当時の話、復興支援の経過などをお聞きしました。志賀町の民生委員の方も同席されており、お話をお聞きしました。災害が起こってからでは遅く、事前にSMSの活用やグループLINEを作成するなど様々な連絡網を予め準備しておくことが重要だと述べておられました。震災当時は不眠不休での活動が続いたようです。研修会場の文化ホールも雨漏りするようでバケツが置かれたり、文化ホール横にも多くの仮設住宅があり、復興にはまだまだ時間がかかりそうに思えました。

地震、津波で亡くなられた方々に、心よりご冥福をお祈り申し上げます。



第三地区 管外研修（京都）

「見る・聴く・触れる・感じる」防災学習

第三地区民生委員児童委員会では、令和7年9月2日(火)京都市市民防災センターにて管外研修会を実施しました。



【研修テーマ】

「南海トラフ地震の発生に備え、地震・強風・土砂災害の体験を通じて、日頃の活動や防災につなげていきたい」。近い将来発生が予想されている南海トラフ地震をはじめ、近年頻発する自然災害に対し、私たち民生委員が地域でどのように行動し、地域の皆さんを支えていくべきかを学ぶことを目的に研修を行いました。

【研修先：京都市市民防災センター】

京都市市民防災センターは、地震や火災、風水害など、さまざまな災害について体験を通して学ぶことができる防災学習施設です。実際の状況を再現したシミュレーションにより、災害時の判断や行動について実践的に学べる点が特徴です。

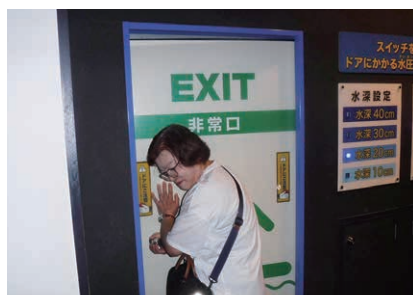
研修当日は、職員の方から丁寧な説明を受けた後、地震体験、強風体験、水害に関する体験コーナーなど、複数のプログラムに参加しました。さまざまな体験を通して、災害時に起こり得る状況や適切な行動について学びました。



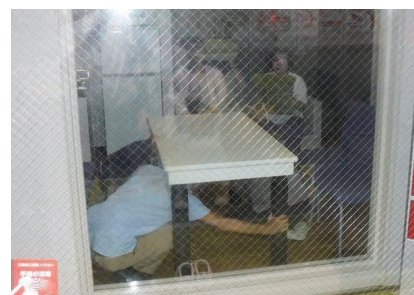
説明を受けて体験プログラムの始まりです



強風体験コーナー



水圧扉体験コーナー



地震体験コーナー

参加者は驚きや緊張を感じながらも、「体で覚える防災」の重要性を実感し、防災意識を高める貴重な研修となりました。今回の研修で得た学びを、日々の見守り活動や防災啓発に活かし地域の安心を支える存在であり続けられるよう取り組んでいきたいと思えます。